

おあしす



特定医療法人 南山会

親切 安心 信頼

峡西病院・峡西老人保健センター・きづな
・アルプス訪問看護ステーション

2024 **10** 第38巻10号
(通巻446号)



日本医療機能評価機構

—— 峡西病院の理念 ——

「その人らしさをともに創造する」

人生の新しい目的や意味を一緒に考え、
より良い人生を伴走していく

委員会紹介

働き方創造委員会

2022年7月21日に働き方創造委員会が発足しました。当委員会は、職員の労働環境や患者・利用者の療養環境に関するアイデアを経営サイドに伝える役割があります。委員になったことで、経営側の視点で委員会の提言の可否を考えることや働く側の様々な意見を知ること、体制が実際に変わるこの面白さを学べました。

私は以前、別の病院で働いていました。自身の聴覚障害によって聞き取りづらさを抱え、働く上で努力しても難しいことがあります。その背景から、看護師として働きながら、私が目指したことは「手帳がない障害者が安定した収入を得られる仕組みを作ること」です。前に勤務していた病院では達成できないため当院に転職しました。元々働く環境に関する仕事に興味があり、私が当院に入社した年度に当委員会が発足されたため、良い経験になりそうだと感じ委員になりました。

委員会としての取り組みとして週休二日制に関する話題など様々な提案が出ました。まずは職員一人一人の声を聞くことが大事であるため、アンケートを取ることにしました。それまで職員同士で

組織への思いや考えを話すことはあっても、職員全体がどう感じているのか、データを収集し整理して実施に向け行動したことはありませんでした。委員会に経営会議のメンバーがいたため、私たちの取り組みが必要に感じ経営側に届いている実感がありました。委員会が提案した完全週休二日制が実際に導入されたことで、法人が働きやすい職場環境づくりに真摯に取り組んでいることが分かり、職員として柔軟な経営体制に驚きとともにありがたさを感じました。また、導入した結果として職員募集において応募者が増えた傾向があることなど知ることができ、働き方の改善がどう組織の発展につながれるのか、その視点を知ることができたのも面白かったです。

働く人と雇用する人は、中々交わる機会がないものですが、委員会を通して繋がることのできる環境は当法人の素敵な仕組み（魅力）だと感じています。委員会を通して働きやすい職場環境創り、患者・利用者の療養環境改善にこれからも貢献出来たら嬉しいです。

働き方創造委員 高野恵利那

高齢者との関わりを考える

ミニ勉強会 開催中

7月から、毎週水曜日の昼休憩後の時間を活用して、急性期病棟に勤務するスタッフを対象に「高齢者との関わりを考えるミニ勉強会」を開催しています。「ミニ」と称しているのは、約15分間というコンパクトな時間に収めているためです。

急性期病棟を担当している輿水グループリーダーが、「このところ高齢の方の入院が続き、看護スタッフが対応に悩むことが多い」と話していると聞きつけ、自分ができることはなにかないだろうか？と考え、企画に至りました。

私自身、高齢者との関わりの中で、これが正解だ！と胸を張って言えるような技術も知識も持ち合わせていません。しかし、どのように関わったらよいか、皆で考える場をもうけることは十分にできると思っています。「若い」を生きて「こぢんまりとではあります、毎週のミニ勉強会を継続しています。ミニ勉強会を通して、高齢の方の「その人らしさをともに創造する」一助になればと願っています。

リハビリテーション部 心理グループ

成田 正樹

成田心理士が企画、開催をして頂いている、高齢者のミニ勉強会に参加させてもらいました。若いとは何なのかという事に関しては、自分自身も若いに対するネガティブなイメージが大きかったのですが、若い参加者の中には、ポジティブなイメージを持っている人も少なくなく、一昔前と違う若い受け止め方の多様性を感じました。またその方のバックグラウンドを尊重した関りが「その人らしさ」を引き出せるポイントであることも学ぶことができました。今後も月ごとに、内容を変えながら開催していただけるとの事で高齢者への考え方や、関わり方を学ぶことで、医療者、高齢患者の心の距離を縮めていくきっかけになればと思っています。

ミニ勉強会を通して、高齢の方の「その人らしさをともに創造する」一助になればと願っています。

輿水 陽

令和5年度 目標管理発表会



目標

アルプス訪問看護ステーションにおけるBCP（業務継続事業計画）のマニュアルを作成して災害時訪問看護が継続できるように対策を明確にする。

理由

- ① 介護報酬の改定において、訪問看護事業所におけるBCP策定が義務化され業務継続に向けた計画の作成、研修の実施、訓練の実施が義務づけられた。
- ② 災害が発生しても必要な支援が継続できる体制を作るために対策を考えていく必要があった。

結果

- ① **利用者の避難場所の把握**
昨年からの取り組みでもある利用者さんの避難場所の確認を行い訪問カードに記載していきました。
- ② **職員の参集状況の把握**
自宅から職場までの距離と時間の確認。災害発生時どの程度出勤できるか確認していきました。まずは職員、家族の安全確保、家族の安全を守ることも大切なことだと感じています。
- ③ **安否確認方法**
「#1771」の伝言ダイヤルの使用体験を実施。
- ④ **災害時対応マニュアルの作成**
実際に災害が発生した際の行動マニュアルを作成しました。
- ⑤ **利用者のトリアージの実施**
トリアージを行いレッド枠の支援体制を検討。災害時には訪問看護服薬セットを行っている利用者さんが

最も優先順位が高くなります。地域別に分けて同居者の有無やサービスの利用状況、内服管理状況、家族の支援体制を確認しては把握していき

⑥ ヘルプカードの作成

ヘルプカードがあると出先で被災した際、カードを周囲に提示することで自身の状況を相手にすぐに理解してもらおう事が可能になります。

⑦ 机上訓練の実施

訪問看護で使用しているスマートフォンでLINEグループを作成。災害時の安否確認、どこで被災したかを共有できるようにしました。実際の災害を想定にして机上訓練を繰り返し行っていくことが必要である

と思います。

⑧ 災害時必要物品の準備・購入し訪問車に常備する

購入内容は①おむつ、②トイレシートペーパー、③ビニール袋、④アルミシート、⑤防災ホイッスル、⑥緊急用ハンマー

まとめ

挑戦目標達成に向けて、まずはBCPの研修会に参加して必要なことを検討し共通理解に努め、災害発生時を想定して必要な対策を考えることが出来ました。また訪問看護スタッフの災害対策に対する意識の向上にもつながったと感じます。

災害時の支援を考えていく中で、地域とのつながりや関係作りがとても大事であると改めて感じました。災害対策の基本的な考え方として、まずは利用者、職員の安全を守り、業務の優先順位を考えながら訪問看護が継続できることが大切です。マニュアルを作成して様々なことに取り組んできましたが、まだ具体的にやっていないことも多く課題が残っています。

今後の課題

- ・ レッド枠の利用者について、支援体制や役割の確認、更新を行う。
- ・ 災害時のパンフレットを完成させ配布する。
- ・ 内服薬の予備を促していく。
- ・ ヘルプカードの作成を継続。
- ・ 利用者の安否確認方法、手段の検討が必要。また、伝言ダイヤルの使用方法を継続して伝えていく必要もある。

最後に

この取り組みはマニュアルを作成して終わりではなく、日々修正や更新が必要です。実際の災害時に行動できるように、スタッフ全員でリソースを考えていけるようにしていきます。

OT・PT だより

病院イベント

がんばれニッポン新記録!!
ゲーム大会

パリオリンピックが大変盛り上がり、閉会してしばらく経った8月22日(木)、レクリエーション委員会が企画し、オリリンピックを思わせるような「がんばれニッポン新記録!!」をタイトルにしたスマートボール大会を開催しました。縦1・8メートル×横1メートルくらいの手作りスマートボール機を会場の中心に設置し、練習1球、本番3球、最後の1球は得点が2倍となるルールで行いました。会場の皆で何点にピンポン玉が入るか見守り、100点に入ると、大きな歓声が沸き起こっていました。最高得点の優勝者には、手作り金メダル、賞状、売店の商品券が副賞として贈られました。表彰式の後には、参加賞のピックを飲みながら楽しいひと時を過ごしました。



プログラム紹介

復職準備型プログラム スタートミーティング

〔活動曜日〕 毎朝リハビリ開始時

〔活動内容〕

復職準備型グループでは毎朝スタートミーティングを実施しています。ここでは定例の事務連絡やその日のスケジュール確認だけでなく、リハビリの進捗状況や気になったニュースを参加者全員が順番に発言をしていく「一言トピックス」というコーナーがあります。短い時間の中で簡潔に自分の言いたいことをまとめたり、それを言葉にする流暢性のトレーニングにもなります。毎朝この時間がやってくるため、話題を考える練習にもなります。自分自身を振り返る機会にもなります。そんな毎日のちよっとした仕組みの中にも「一言トピックス」を生活の中でチャレンジしてみてください。

リハビリテーションセンターだより

第3回 フレンズアート展

先月号で8月2日～8月3日に蕪崎市民交流センターニコリにて「第3回フレンズアート展」を開催したことをお伝えしました。

蕪崎までは遠くて見に行けないという声もあり、9月2日～9月13日まで当院の売店「天竺」にて同じ内容で開催いたしました。

飾る場所が違くと全体の雰囲気も違った印象になりました。売店でコーヒーを飲みながら鑑賞する方もいらっしゃいました。

スタッフや患者様、ご家族など大勢の方に見ていただきました。ありがとうございました。



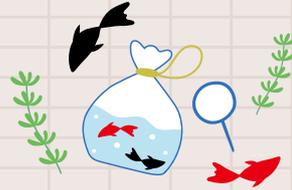
興味のある方、見学や利用をお考えの方は、スタッフまで気軽にご相談ください。 ☎055-282-2151

*ホームページをぜひ、ご覧ください。

関西病院 リハビリのご案内 検索

ろうけんTimes

今月の TOPICS★



3F
通所
リハビリ

午後のレクリエーション活動で、手作りの金魚すくいを行ないました。利用者様みんなで、ひとつずつ丁寧に金魚を作り、童心に帰って必死に金魚をすくっていました。終わった後でハアハア言いながら、満面の笑みを浮かべておりました。

2F
認知症
専門棟



山梨のブドウは日本一。認知症棟の利用者様の作ったブドウは世界一。ブドウ作りに参加された利用者様全員が良い笑顔を見せながら、一生懸命に作りました。ぶどう一粒どう？
おいしいですよ。

1F
一般棟



午後より、グループ活動(調理)で、あんみつを作りました。暑い日にはやはり冷たい物ですね。果物やゼリーなど、好きなものを思い思いに入れ、『涼』を楽しまれました。



* 峡西老健のホームページもご覧ください。

峡西老健 検索



峡西老健の理念

優 優しさ

友 友愛

結 人と人

～あなたに優しく、あなたを想い、あなたと結ぶ～

本の紹介コーナー

今回は、Y・Yさんにおすすめの本を聞きました！

本の題名：明日をひらく言葉

(著：やなせたかし／出版社：PHP研究所／出版年月日：2016年3月3日)

●読んだきっかけは？

子供の頃にテレビで見たアンパンマンの作者と知って興味がわきました。

●おすすめのポイントは？

この本では、アンパンマンがどのように誕生したのか、やなせさんがどのような思いを込めて様々な作品を作ってきたのかということが綴られています。私が驚いたのは子供の頃に学校でもよく歌った「てのひらを太陽に」も、やなせさんの作詞だということでした。そして、アンパンマンに登場するキャラクター皆が握りこぶしを握っている理由も奥深いものでした。本には「悲しい時、絶望しそうになった時、握り拳を作ってみて下さい。そして、その握り拳で涙を拭くのです。」と書いてありました。その他にも握り拳にしておけば、小さな子供でも絵を描きやすいから、というのも理由の一つだそうです。この本はやなせさんのエッセイのような内容でしたが、彼の残した他の作品と同様に優しさに満ち溢れたものでした。私も日々の生活の中で、公私ともにくじけそうになってしまう時もたまにありますが、そんな時に自分を支えてくれるような心安らぐ一冊です。

「患者と医療者のパートナーシップ」指針

■基本方針

当院は最適な医療を提供すると同時に、患者様やご家族の医療や療養に対する希望・自己決定権を尊重して、患者・医療者のパートナーシップを大切にします。

■具体的対応と要望を反映するしくみ

- ・入院時診療計画を説明し、同意を得た上で文書を提供する。(医局・看護部)
- ・月ごとの総合診療計画実施書を説明し、同意を得た上で文書を提供する。(作業療法室)
- ・カンファレンスへの家族参加の呼びかけ。
- ・在宅に向けた医療スタッフの訪問と療養環境整備目的の相談を受ける。(訪問看護室)
- ・ソーシャル・スキル向上目的の訓練計画の立案へ、患者・家族の参加の呼びかけ。(臨床心理室・デイケア室)
- ・アンケート調査を通じて、要望事項の確認と対応の公開をする。(事務部)
- ・「ご意見箱」により病院管理者へ意見が届き、対応内容を院内に公開する。(接遇委員会)
- ・「家族教室」を定期的に開催し、必要な情報の提供と相談に応じる。(医療相談室)

■患者・医療者のパートナーシップを継続的検討

- ・指摘された問題や要望については、定期的な検討を行なっています。

犬を飼っていることは、私の趣味の中で最も大切な部分を占めています。犬はペット以上の存在で、私の生活にたくさん喜びや癒しを与えてくれます。愛犬と一緒に散歩をすることが日課になっており、その時間が私にとって、何よりも特別なひとときです。愛犬と共に歩くことで、心も体もリフレッシュされます。散歩中は、周りの景色や他の犬たちと触れ合うことができ、愛犬が他の犬と遊ぶ姿を見ることができ、愛犬が他の犬と遊ばず。また、愛犬が新しい場所を探る姿は、私にとって新たな発見であり、いつも新鮮な気持ちにさせてくれます。犬との生活は、ただ楽しいだけではありません。しっかりとしたしつけや健康管理も必要です。これもまた、私の趣味

万華鏡

執筆依頼が届いてびっくりした。となりの「私の趣味」は新入職員のコーナー、この「万華鏡」はベテラン職員の間違いかなど思ったが、自分の入社年数を数えたら意外と経っていた(15年目らしい)。管理職でもないのに書くのはちょっと嫌だなと思ったが、断れない。この15年の間には「おあしす」編集を担当した時期もあって、原稿を集める苦労を知ってしまった。私が「私の趣味」を書いたのは、入

社3年目の頃だった。当時はレターセットや切手が好きで、それを友人に送ることについて書いた記憶がある。それから時間が経ち郵便料金は上がっていき、集めた切手は使いにくくなって大量に余っている。当時手紙を送り合っていた友人たちは、付き合いが続いている人もいるが疎遠になった人も

いる。そういえば、「友達は季節に咲く花」という言葉を知った。作家の深沢七郎の言葉らしい。たしかに、人と関係を築くことは花を咲かせるのと同じで、あるところがある気もする。同じ季節を過ごしているときは、自然と花が咲くように付き合いが生まれる。お互いの生活が変化すると、季節によって花期が終わるように自然と疎遠になる。ちょっととした巡り合わせで、遅い早

心理グループ 齋藤

私の趣味

の一環となっています。愛犬のために手作りご飯を作ること、より深い絆を築くことができると思っています。さらに、公園での散歩中に他の飼い主さんとお話することが多く、犬を飼っている共通の話題で盛り上がることもできます。このようなつながりが、私の生活をより豊かにしてくれます。犬を飼うことは、私にとって生活の一部であり、心の支えでもあります。これからも愛犬との時間を大切に、共に成長していけることを楽しみにしています。あなたも犬を飼っていますか？どんな犬ですか？

愛犬家

こちら編集室

現在、日本の至るところで「米」が不足している。原因は台風の影響や生産者の高齢化により農業を続けることが出来ず、また後継者もないことである。

先日、家の近くのスーパーに買い物に行った際に、お米が全く売られておらず、パックご飯の陳列棚に「ひと家族〇パックまで」と貼り紙が貼られていた。幸い私の家は以前購入していたお米がまだ沢山あった。私は、お米が大好きなのでこの問題はとても深刻だと感じた。大正時代の日本でも「米騒動」があったが、まさか現代の日本でもこのような事が起こるとは思わなかった。私の家は、米不足の対策として、週に何度かうどんやパスタ、そばやそうめんなどを食事に取り入れ、お米が家からすぐに無くなるようにしている。

そろそろ新米が出てくると風のウワサで聞いたが、実際にまだスーパーではお米が全く売られていないため、不安は続いている。皆様はお米が不足していますか？また、どんな対策をしていますか？

(Y)

今月の予定 10月

- 2日 外来ケアプロセス会議
- 3日 防災訓練
- 8日 行動制限最小化委員会
- 16日 教育委員会

今月の一枚

一人娘の『カレン』です。
ごじごじよろしくー[🐱]

おあしす広場

今月もおあしすに素敵な作品が寄せられました。

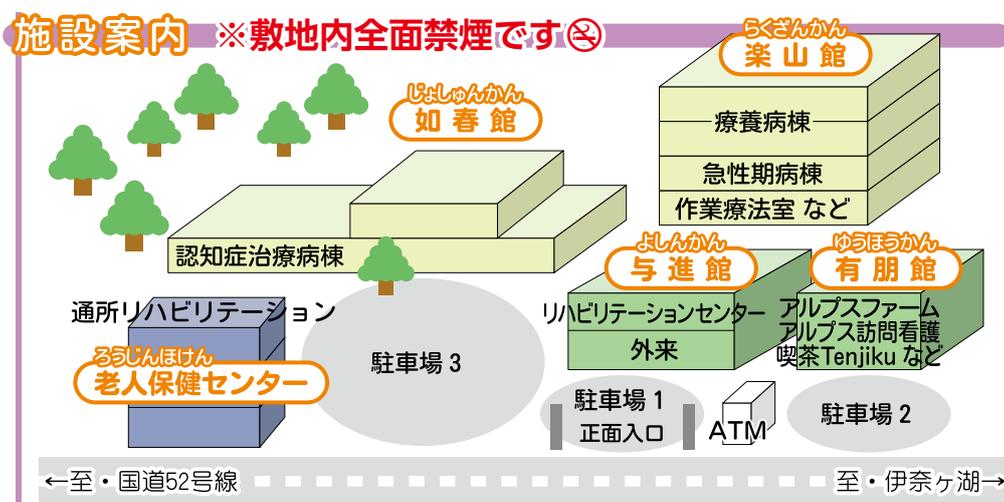
大根やうまし味だよ手に持ちて
今福 和人

秋花に水やり終えて談笑か
恵風

涼空^{すずから}の読書の季節秋色に
渡辺 あき

自分らしくマイペースに生きて行こう
渡辺 奈美子

※掲載は五十音順です。



- 交通案内**
- JR中央線
甲府駅より車で40分
 - JR身延線
東花輪駅より車で15分
 - 中央高速
甲府昭和ICより車で30分
 - 中部横断道
南アルプスICより車で5分
 - 山交バス
甲府-南アルプス市甲西支所行き
(十五所経由) 鵜沢営業所行き
(西野経由) 鵜沢営業所行き
小笠原下仲町バス停徒歩5分